

第1学年 生活科 学習指導案

1 単元名 「たのしい あき いっぱい」

2 単元指導計画 (全 22 時間)

次	時	主な学習内容
1	3時間	校庭に生息する昆虫や植物等に直接触れたり、観察したりする。ICT 機器の活用
	5時間	校庭の様子と比べながら、公園に生息する昆虫や植物等に直接触れたり、観察したりする。 ICT 機器の活用
	2時間	葉や木の実等に触れたり、それらを観察したりする中で、思いや願いを膨らませ、これらを使って遊んだり、製作したりする。
	1時間	これまでの活動を振り返り、心に残ったことや自分の生活と関わりのあることを交流する。
2	5時間	拾い集めた秋の自然物(葉や木の実等)を使って、自分たちで楽しむことができる秋のおもちゃを製作する。ICT 機器の活用
3	3時間	年長児を秋のおもちゃランドに招待したときに大切になること(会の進め方、年長児との関わり方、準備するもの等)を考え、準備する。
	2時間	年長児を秋のおもちゃランドに招待し、自分たちが製作した秋のおもちゃで一緒に遊ぶ。
	1時間	これまでの活動を振り返り、心に残ったことや自分の生活と関わりのあることを交流する。

3 本時について

(1) ねらい

生息する昆虫や植物、気温や空の様子に着目し、身近な自然を観察したり、繰り返し生き物に直接触れたりする活動を通して、秋の特徴的な様子や季節の移り変わりに気づき、自分の言葉で表現することができる。

(2) 評価規準

秋の特徴的な様子や季節の移り変わりを予想して、夏の自然との違いを探している。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
つかむ	<p>1 既習の活動を想起し、本時の願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前は、桜の木でセミの抜け殻を見つけたよ。 大きなショウリョウバッタがいました。〇〇さんが捕まえていたのですごかったです。 今日も虫を探してみたいです。でも、いるのかな？ 葉っぱの色が変わっていたから、いろいろな葉っぱを探してみたいです。 <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>〇〇小の秋を見つけて、秋のすてきを伝えよう。</p> <p>3 課題解決の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 葉っぱや木の実を見付けたいです。 秋の虫を見付けたいです。 	<p>【ICT 活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏や初秋の活動の様子を具体的に想起することができるように、撮影した活動の様子や子どもたちが見つけたものを電子黒板に映し出す。 <ul style="list-style-type: none"> 願いを基に本時の活動を整理して、板書に位置付ける。活動の目的を明確にするために、何を見付けに行くかを選択するように促す。 活動場所の範囲と活動時の約束、ICT 機器利用の注意点を確認する。

や
っ
て
み
る

4 個人で追究する。

虫	木の実や葉	その他
・ コオロギ ・ バッタ	・ 色づいた葉や 実	・ 秋の空や雲 ・ 服装

5 全体で追究する。

- ・遊具の隣の草むらで大きなコオロギを見付けました。前に見付けたときより大きくなっていてびっくりしました。
- ・〇〇さんと一緒にコオロギを見付けました。怖くて触ることはできなかったけど、撮影できたので、コオロギのことがよく分かりました。
- ・中庭で赤くなった葉っぱを見付けました。とてもきれいでした。
- ・雲の写真を撮りました。夏はもくもくの大きな雲がいっぱいあったけど、今日見たら、細長くて薄い雲がいっぱいありました。
- ・秋になると赤や黄色に色が変わる葉っぱがあります。でも、緑のままの葉っぱもありました。

6 学習をまとめる。

秋になると、見付かる虫の種類が変わったり、葉が色付いたりする。でも、変わらずそのままのものもある。

7 本時の学習を振り返る。

- ・今日は、コオロギをたくさん見付けることができ嬉しかったです。でも、他の虫を見付けることができなかったので、他の虫も見付けてみたいです。
- ・今日は、中庭できれいな赤い葉っぱを見付けることができ嬉しかったです。学校ではどんぐりが見付からなかったなので、今度、公園で拾いたいです。
- ・今日は、〇〇さんが秋の雲を見付けていたのですごいと思いました。私も〇〇さんみたいに秋の雲をいっぱい見付けたいです。

ふ
り
か
え
る

【ICT活用の工夫】

- ・タブレット端末で撮影することのよさを感じられる言葉かけを行う。
- ・ICT機器を活用することで、気付きを共有したり、取ってこなくても仲間に示したりできるよさがあることに気付いた姿を価値付ける。

【ICT活用の工夫】

- ・気付きを共有できるように、必要に応じて撮影した写真を拡大したり、マーカーで示したりする。

- ・気付きを広げたり、気付きの質を高めたりするために、追究時に見届けたことを基に、意図的指名を行う。
- ・葉が色付いたことを取り上げ、「全ての葉の色が赤や黄色に変わったの。」と問い返すことで、季節が変わっても変わらないものがあることに気付くことができるようにする。
- ・本時の活動を振り返り、「できて嬉しかったこと」や「がんばったこと」を話すだけでなく、次時への願いをもつことができた姿を価値付ける。
- ・ICT機器を効果的に活用したり、活用するよさに気付いたりした姿を価値付ける。

第1学年 生活科 学習指導案

1 単元名 「なつが やってきた」

2 単元指導計画 (全13時間)

次	時	主な学習内容
1	3時間	校庭に生息する昆虫や植物等に直接触れたり、観察したりする。ICT機器の活用
	4時間	校庭の様子と比べながら、公園に生息する昆虫や植物等に直接触れたり、観察したりする。 ICT機器の活用
	1時間	これまでの活動を振り返り、心に残ったことや自分の生活と関わりのあることを交流する。
2	2時間	ケチャップなどの容器に水を入れ、遠くに飛ばしたり地面に絵を描いたりする。
	1時間	ストローやうちわの骨組みなどを使って、シャボン玉をつくる。
	1時間	年長児を招待し、水遊びやシャボン玉遊びで見付けた様々な気付きを基に楽しく一緒に遊ぶ。
3	1時間	これまでの活動を振り返り、心に残ったことや自分の生活と関わりのあることを交流する。 ICT機器の活用

3 本時について

(1) ねらい

生息する昆虫や植物、気温や空の様子に着目し、身近な自然を観察したり、繰り返し生き物に直接触れたりする活動を通して、夏の特徴的な様子や季節の移り変わりに気付き、自分の言葉で表現することができる。

(2) 評価規準

夏の特徴的な様子や季節の移り変わりを予想して、春の自然との違いを探している。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
つかむ	<p>1 既習の活動を想起し、本時の願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学した頃は、ピンクの桜の花びらがいっぱいきれいだったよ。 ・モンシロチョウやモンキチョウがいたよ。なかなか捕まえられなかったけど、〇〇さんと一緒に追いかけたら楽しかったよ。 ・きれいな花がたくさん咲いていたよ。今はどうなんだろう。 <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>〇〇小の夏を見つけて、夏のすてきを伝えよう。</p> <p>3 課題解決の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、きれいな花を見付けたいです。 ・前は虫を捕まえられなかったからたくさん捕まえたいよ。 <p>4 活動中の約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱにはチャドクガがいるときがあるから確認してから触らないといけないね。 ・ハチが近くにいたら、手ではらうと襲ってくるかもしれないから、すぐに逃げるよ。 	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の学校探検の様子を具体的に想起することができるように、撮影した活動の様子や子どもたちが見付けたものを電子黒板に映し出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・願いを基に本時の活動を整理して、板書に位置付ける。活動の目的を明確にするために、何を見付けに行くかを選択するように促す。

や
っ
て
み
る

5 個人で追究する。

虫	草花	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ アゲハチョウ ・ シオカラトンボ ・ ショウリョウバッタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シロツメクサ ・ オオバコ ・ ツユクサ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の空や雲 ・ 服装

5 全体で追究する。

- ・ 遊具の隣の草むらでアゲハチョウを見付けました。前はモンシロチョウがいたけど、いるチョウが変わってびっくりしました。
- ・ シオカラトンボを見付けました。速くて捕まえられなかったけど、撮影できたので、捕まえたみたいで嬉しかったです。
- ・ 鉄棒の近くでシロツメクサを見付けました。みんなと一緒にかんむりを作りました。
- ・ 雲の写真を撮りました。もくもくの大きな雲がありました。わたがしみたいで美味しそうでした。
- ・ 春の時より葉っぱの緑が濃くなっていました。葉っぱが元気な様子でした。

6 学習をまとめる。

夏になると、春とは違う生き物や植物が出てきたり、葉の色が濃くなってきたりする。

7 本時の学習を振り返る。

- ・ 今日、〇〇さんと一緒にシロツメクサでかわいいかんむりを作れて嬉しかったです。家に帰ったら妹にも作ってあげたいです。
- ・ 今日、たくさんのシオカラトンボを見付けたけど捕まえられなかったから悔しかったです。今度は虫取りアミを持ってきて捕まえたかったです。
- ・ 今日、〇〇さんが葉っぱの色が変わっていたことを見付けていたのですごいと思いました。私も〇〇さんみたいに夏のひみつをいっぱい見付けたいです。

ふ
り
か
え
る

- ・ アシナガバチなど、触ったり近づいたりすると危険な生き物があることや関わり方について適切に指導する。
- ・ 活動場所の範囲と活動時の約束、ICT 機器利用の注意点を確認する。

【ICT 活用の工夫】

- ・ タブレット端末で撮影することの良さを感じられるように、言葉かけを行う。
- ・ ICT 機器を活用することで、気付きを共有したり、取ってこなくても仲間を示したりできるよさがあることに気付いた姿を価値付ける。

【ICT 活用の工夫】

- ・ 気付きを共有できるように、必要に応じて撮影した写真を拡大したり、マーカーで示したりする。
- ・ 気付きを広げたり、気付きの質を高めたりするために、追究時に見届けたことを基に、意図的指名を行う。
- ・ 草花で遊んだ児童を取り上げ、草花を使って楽しく遊ぶことができることに気付くようにする。
- ・ 本時の活動を振り返り、「できて嬉しかったこと」や「がんばったこと」を話すだけでなく、次時への願いをもつことができた姿を価値付ける。
- ・ ICT 機器を効果的に活用したり、活用するよさに気付いたりした姿を価値付ける。

第1学年 生活科 学習指導案

1 単元名 「ふゆを たのしもう」

2 単元指導計画 (全14時間)

次	時	主な学習内容
1	3時間	校庭に生息する昆虫や植物等に直接触れたり、観察したりする。ICT機器の活用
	4時間	校庭の様子と比べながら、公園に生息する昆虫や植物等に直接触れたり、観察したりする。 ICT機器の活用
	1時間	これまでの活動を振り返り、心に残ったことや自分の生活と関わりのあることを交流する。
2	1時間	袋に風を入れたり、ためたりして風の強さに気付きながら遊ぶ。
	2時間	風車を作り、走ったり風の通り道に羽を向けたりして風車で遊ぶ。
	2時間	雪を固めたり、投げたり、カップに水と一緒に葉や木の実などを入れ、凍らせたりして遊ぶ。
3	1時間	これまでの活動を振り返り、心に残ったことや自分の生活と関わりのあることを交流する。 ICT機器の活用

3 本時について

(1) ねらい

生息する昆虫や植物、気温や空の様子に着目し、身近な自然を観察したり、繰り返し生き物に直接触れたりする活動を通して、冬の特徴的な様子や季節の移り変わりに気付き、自分の言葉で表現することができる。

(2) 評価規準

冬の特徴的な様子や季節の移り変わりを予想して、夏や秋の自然との違いを探している。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
つかむ	<p>1 既習の活動を想起し、本時の願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋に、遊具の隣の草むらで大きなコオロギを見つけたよ。〇〇さんと一緒にたくさん捕まえたよ。 ・中庭で赤くなった葉っぱや実を見つけたよ。 ・〇〇さんが雲の写真を撮っていて、夏と違う細長くて薄い雲を見つけていてすごいと思ったよ。 ・今は虫の鳴き声が聞こえないけど、たくさんいた虫はどうなったんだろう。 <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>〇〇小の冬を見つけて、冬のすてきを伝えよう。</p> <p>3 課題解決の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の花を見付けたいです。 ・冬にはどんな虫がいるか調べてみたいよ。 <p>4 活動中の約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凍っているところを踏むと転んで頭を打ってしまうかもしれない。危ないから走らずに冬を見付けたいといけないね。 ・木の枝を振り回すと友達にケガをさせてしまうかもしれないから、絶対にやらないよ。 	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春や夏、秋の様子を具体的に想起することができるように、撮影した活動の様子や子どもたちが見つけたものを電子黒板に映し出す。 <p>・願いを基に本時の活動を整理して、板書に位置付ける。活動の目的を明確にするために、何を見付けに行くかを選択するように促す。</p>

や
っ
て
み
る

5 個人で追究する。

虫	草花	その他
・ ナミテントウ ・ ダンゴムシ	・ 桜の芽 ・ スイセン	・ 冬の空や雲 ・ 霜柱・氷

5 全体で追究する。

- ・ 落ち葉や大きな石の下でダンゴムシを見付けました。丸まっ
ていてあんまり動きませんでした。ダンゴムシも寒いのかなと思
いました。
- ・ スイセンを見付けました。同じ場所にたくさん生えていて、と
てもきれいでした。
- ・ 夏や秋と違って、空が暗かったです。寒いからだと思います。
- ・ 体育館の横の土のところを歩いていたら霜柱を見付けました。
踏むとざくざくといっていて面白かったです。

6 学習をまとめる。

冬になると、夏や秋と比べると生き物が減ったり、氷ができたりする。

7 本時の学習を振り返る。

- ・ 今日、すごく大きな霜柱を見付けてびっくりしました。〇〇さん
と一緒に踏んだらとても楽しかったです。家の近くでも霜柱を探し
てみたいです。
- ・ 今日、たくさんのナミテントウを見付けられました。でも、ポケ
ット図鑑に載っているオオカマキリの卵を見付けられなかったの
で残念でした。近くの公園でも探してみたいです。
- ・ 今日、〇〇さんが桜のつぼみを見付けていたのですごいと思い
ました。他の木のつぼみはどうなっているか調べたいです。

ふ
り
か
え
る

- ・ 湿っていたり水たまりがあったりする場所は地面が凍っている可能性があるので気を付けて歩くことや木の枝でけがをするような遊びをしないことを指導する。
- ・ 活動場所の範囲と活動時の約束、ICT 機器利用の注意点を確認する。

【ICT 活用の工夫】

- ・ タブレット端末で撮影することのよさを感じられるように、言葉かけを行う。
- ・ ICT 機器を活用することで、気付きを共有したり、取ってこなくても仲間に示したりできるよさがあることに気付いた姿を価値付ける。

【ICT 活用の工夫】

- ・ 気付きを共有できるように、必要に応じて撮影した写真を拡大したり、マーカーで示したりする。
- ・ 気付きを広げたり、気付きの質を高めたりするために、追究時に見届けたことを基に、意図的指名を行う。
- ・ 霜柱を見つけた児童を取り上げ、冬ならではの自然の様子に気付くようにする。
- ・ 本時の活動を振り返り、「できて嬉しかったこと」や「がんばったこと」を話すだけでなく、次時への願いをもつことができた姿を価値付ける。
- ・ ICT 機器を効果的に活用したり、活用するよさに気付いたりした姿を価値付ける。